

# あけびだより

No. 200

2021年6月1日発行

URL <http://www.akebi.or.jp/>

令和3年6月



5月の実の壁画は花ショウブです。

## 「神経難病のスペシャリストになる前に改めて原点に戻ろう!」

今年度のあけびの目標は、昨年に引き続き「神経難病のスペシャリストを目指して!!」です。

あけび＝神経難病のプロ。他からは、そうみられている現実。患者さんはこれを求めてこられます。ケアマネジャーや神経難病の先生からも「パーキンソン病はあけびに」という声が聞かれ、在宅支援の期待を感じられます。設立当初から一貫して目指してきた「あけびの存在意義」が花開くような感じを受けます。以前から「あけびの存在」は知られていたものの、入居施設・訪問介護・訪問看護が出来た事でここ数年、より広く認知されたと感じます。期待を受けるたび、身が引き締まる思いです。全国唯一の神経難病のプロ、神経難病の施設であるという事の自覚・責任・誇りをどう持つのか。パーキンソン病に対する知識、服薬はもちろんリハビリや現れてくる症状など、あらゆる事に向き合わなければなりません。

あけびでの業務は知識の引き出しに繋がっていると思っています。目の前にいる患者さんは先生です。話を通して、動作を通して、色々な事を教えられます。それを、なかなか上手に活用出来ない事が多く、どの様に導いていけばよいのか悩みます。看護・介護の技術はもちろんですが、人をじっくり観察することで、おのずとやること、やり方が見えてきます。これは、看護・介護の原点ではないでしょうか。

原点を考えた時に、ナイチンゲールの「自分の仕事に三重の関心をもたなければならない」と説いた事を思い出します。「知的な関心」「技術的な関心」「人への関心」。「知的な関心」「技術的な関心」は学んで自分の技術を高めていけば身につくし、研修や何かで受け取ればある程度身につくと思うのです。しかし、「人への関心」は、なかなか学んで身につくのではなく、またどう指導して行けばいいのかも難しいところです。しかし、看護・介護する上で一番重要な事だと思います。今一度、目の前の人に関心を持つという原点にもどる事を声を大にして言っていこうと思います。その人の人生の物語を知る、その人の願いを聴く、その人らしく生きる事を支援することをもう一度考えて行こうと思います。

神経難病のスペシャリストになることに誇りを!!

(S/M)

## 認定・特定非営利活動法人あけび

認定・NPO法人あけび 事務所  
TEL 079-262-6702 FAX 079-262-6703  
グループリビングあけびの里  
TEL 079-262-6707 FAX 079-262-6703  
〒672-8064 姫路市飾磨区細江473-10  
Mail: [info@akebi.or.jp](mailto:info@akebi.or.jp)

訪問看護ステーションあけび  
TEL 079-262-6708 FAX 079-262-6703  
訪問介護ステーションあけび  
TEL 079-262-6702 FAX 079-262-6703  
〒672-8064 姫路市飾磨区細江473-10  
Mail: [houkan@akebi.or.jp](mailto:hokan@akebi.or.jp)

通所介護施設デイサービスあけびの実  
〒670-0804 姫路市保城363番地の3  
TEL079-280-6931 FAX079-280-6932  
Mail: [akebi-no-mi@akebi.or.jp](mailto:akebi-no-mi@akebi.or.jp)  
通所介護施設デイサービスあけびの輪  
〒670-0952 姫路市南条1丁目101-1  
TEL079-284-0055 FAX079-284-0056  
Mail: [akebi-no-wa@akebi.or.jp](mailto:akebi-no-wa@akebi.or.jp)



# あけびの実



# 風

山本  
きみ子

山本きみ子氏

★俳句紹介  
五月の季語で即興で俳句を作ってもらいました。  
『五月晴れ 大空泳ぐ こいのぼり』  
吉田 弘昭様  
『踏まれても 負けない力 きいろかな』  
長谷川 美恵様

## ★5月5日こどもの日

童心にかえって新聞紙でカブトを折り頭にかぶってハイポーズ♪



## ★『ゴキブリ団子』

今年も作りました。何年もやっているの慣れたもので手際よくできました。完売です！

## ハッピーバースデー

長塚茂様 86歳  
一言『あけびに来た  
いただきました。毎  
これからも元気にあ



になられました！  
てもう何回も祝って  
回とても嬉しいです。  
けびに来たいです。』



○恒例のゲーム大会は、「アームでキャッチ」～1分間でどれだけつかめるかな？と「メガホンでキャッチ」～見えないところからのものをうまくつかめるかな？です。小さいカンカンを掴んだらボーナスポイント3倍と最後に知らされます。シートで見えない相手からくるものをとるには距離感と掛け声が大事です。



## ★芍薬～

奥さんやお母様へのプレゼントに少しだけのお出掛けをして、しゃくやくを買いに行きました。目の保養にもなりました。

## ★『卓球』

まさか頭の上に球が！！

# のた こけ

中谷恭平氏



## ★『平行棒運動』

午後からの下肢筋力強化、スクワットはここまでお尻が下がるようになりました。

★来月も新しいレクをやっていきます。初のフルーツピネガー作りや畑収穫作業もあるので、今月も沢山動いて沢山食べて沢山笑って、コロナと自粛ストレスをみなさんで吹き飛ばしましょう！！  
疲れが溜まりやすかったり、夜間不眠などでお休みされる方が多いですが、是非体調の戻られた日に顔を見せてください。1日でも多く外出して活動することで生活リズムもつき筋力低下や気分転換にもなります。



## あけびの輪



★お孫さんや曾孫さん、知り合いの子の健やかな成長を祈念して、大きな鯉のぼりのちぎり絵を制作しました。五月の青空に元気よく泳いでいるようです。子供の日は、兜を折って「ハイチーズ」



★利用者さまのリクエストにお応えして、調理の大西さんに柏餅を手作りしてもらいました。

★リハビリ体操。毎日コツコツと続けています。



★5月16日に西日本は記録的な早さで梅雨入りしました。昔の梅雨はシトシト長雨だったように思いますが、今は短時間に大量の雨が降るので恐怖を感じる時もあります。地球環境の変化を実感しますね。皆さんに紫陽花のちぎり絵をして頂きました。それぞれ個性豊かな紫陽花ができています。来月はこれを大きな紫陽花畑に仕上げますのでお楽しみに～♪



### ハッピーバースデー



★今月の誕生会はミニ運動会でした。うちわを使って“ボール運び競争”と“叩いて被ってジャンケンホイ”は大変賑やかに盛り上がりました。スタッフお手製のロールケーキは、プロ並みに美味しいと大好評でした。

★体を動かすゲームをいろいろ楽しんで頂きました。

★あけび名物・作業療法という名のスナップエンドウの筋取り作業！さすが主婦の皆さま作業が速い！！お昼ご飯に美味しく頂戴しました。

### ご家族からのお手紙

★夕食時、あけびでの様子を笑みを浮かべながら話してくれました。「楽しいと思うことが沢山あれば病も克服できそうだ！」と久しぶりにポジティブな言葉を聞くことが出来ました。お兄さん、お姉さんの中に混じりお友だちのように楽しめる場所がある。嬉しいです。

★千数年にわたりあけびをご利用くださったN様が、この度ご利用中止となりました。N様は、網干商店街にあった鮮魚店の女将さん。明るくユーモアたっぷりの働き者で、町内であぼし小町として有名な方でした。パーキンソン病になってからも、いつも前向きな姿勢で、あけびでも明るいムードメーカー的存在でした。N様がお見えにならなくなりとても寂しいです。利用中止にあたり、娘様から『母がパーキンソン病とわかった時の家族の不安、戸惑い、そんな気持ちを払拭してくださった一筋の光のような場所があけびさんでした。』と身に余るありがたいお手紙を頂戴しました。このお言葉に恥じない様に、これからも皆さまの心の拠り所となる場所を目指して精進いたします。



## グループリビングあけびの里

### 訪問看護ステーションあけび

### 訪問介護ステーションあけび

#### 新入職員紹介

はじめまして、5月からあけび訪問看護ステーションに勤務しています看護師の藤盛です。パーキンソン病の方と密に関わるのは初めてで、日々勉強の毎日を過ごしています。あけびに勤務して3週間が経ちました。その中で感じたことは、パーキンソン病は根本的に治す方法はなく、進行していく病気です。そのことを考えたときに、患者の皆さんはどのような心境で毎日を過ごされているのかということです。受け入れるということは簡単なことではないということは想像できます。診断から何年経っても不安を抱えて過ごされている方も多いと思います。症状も多岐にわたり、経過も一人ひとり違ってきます。一つでも不安を取り除き、今の状態を維持、向上できるよう支援していきたくと思っています。よろしくお願いします。

#### お別れ

4月9日、U様がお亡くなりになりました。最期は二人の息子さんに見守られながら静かに旅立たれたとお聞きしました。U様は、あけびの里ができたときはすでに他の高齢者住宅に入居されていましたが、同じ病気の仲間と一緒に生活をしながら、パーキンソン病を少しでも分かってくれるスタッフに介護して欲しいと希望され、あけびの里の第1号の入居者となりました。

U様の思いを知り、身の引き締まる思いでスタートしたのを覚えています。

入居時は、歩行器使用で、ゆっくりと歩けましたが、体調不良による何度かの入院を経て、車椅子の生活へと変わりました。その頃から体が思うようにならない、でも自分の望む生活がしたいと1日に何度もコールが鳴るようになっていきました。スタッフもどう対処したらいいのか、何度も話し合い、ご本人とも話し、お互いに思いをぶつけ、時にはケアマネ、ご家族を含めた会議も行いました。今振り返ってみると、車椅子の生活になったとき、食事量が減ってきたとき、不穏状態が続いた日々、U様の思いにどれだけ寄り添えただろうか？考えればきりがなほの思いがあります。(A/Y)

#### お知らせ

##### 2020年度第17期通常総会

昨年はコロナの影響でみなし総会にさせて頂きました。今年こそは久しぶりに顔を合わせ、ご心配をおかけしている社員の皆様に、報告をし、討議をしていただきたいと思いますと思っておりましたが、緊急事態宣言の延長によりまたまた、みなし総会となってしまいました。今年のテーマ(目標)は昨年と同じく、難病患者さんの施設であるということに、誇りと責任を持つという意味で、もう一度、「神経難病のスペシャリストを目指して!!」にさせて頂きました。トップページにその思いが掲載されています。

事業実績はコロナの影響もあり落ちていますが、感染防止に努めながら、今だからこそできることを提案し、皆さんの要求にも沿いながら、楽しく過ごしてもらうことに努めてきました。

そんな中でも黒字の決算が出せたことはボランティアの方々をはじめとしてあけびに関わって下さっている皆様のおかげと感謝しています。また、多くの方に賛助会員としても支えていただいています。

今年介護保険改正の年。

「自立支援」「介護の社会化」を掲げて導入された介護保険ですが、20年たった今、維持可能な運用という名目で、利用者を介護重度者に限定し、軽度者は「自助」「共助」の方向に変化しています。

今回大きく変わる点は科学的根拠のある介護ということでデータの提出を求められます。

「サービスが、自立支援に向かっているのか」という点がより明確に規定されていきます。

入浴を例にとってみると、気持ちよさ、こち良さを追求する入浴からリハビリの一環としての入浴を行うことを求められています。目指す方向は「自宅での自立」。評価しデータ化することで報酬になるという仕組みです。

法に振り回されることなく、1人1人を見つめて、着実に前へ進めていきたいと思ひます。

#### パーキンソン病友の会 兵庫県支部姫路ブロック

\*6月 患者・家族交流会  
6月20日(日) 13時~  
場所 あけびの実  
会費 ご家族で500円

#### 医療相談会

6月は緊急事態宣言が発出されていますので7月の初めに行いたいと思ひます。  
日程はまだ決まっていますが、申し込みしていただければ連絡差し上げます。



#### 「卓球クラブ」6月練習日

緊急事態宣言中は中止です。

場所：ルネス花北体育館  
持物：上靴・ラケット

連絡先(280-6931)